

開催趣旨（選抜チーム編成に至るまでの経緯）

今年の元日に令和6年能登半島地震が発生しました。能登半島北部（奥能登地区）を中心に地震や津波による甚大な被害を受け、当該地区の加盟校の野球部員の生活基盤が破壊され、教育活動にも大きな影響を受けました。幸いにも部員・指導者には震災の犠牲となる方がいませんでしたが、大きな心の傷を受けました。そのような折に日本高等学校野球連盟ならびに44都道府県からの多大なる支援金をはじめ、多くの団体や個人からの支援金や物資をいただき、何とかこの4月に春季石川県大会を開催して無事終えることとなりました。その間、練習環境を失った奥能登地区の加盟校は、石川県内だけでなく福井・富山・新潟・宮城の加盟校から合同練習や練習試合に招待されました。

今から13年前に発生した東日本大震災により、本県では、被災した岩手県・宮城県・福島県の3県とこれまでお互いの県に訪問して、交流試合と被災地の見学など球児・指導者との交流を深めてきました。時は違いますが、ともに大震災を経験した高校球児同士で野球のみならず、将来の復興に向けて社会貢献できる人材の育成のチャンスと捉え、被災地交流という新たな形での東北の被災地との交流を考えておりました。

今回は宮城県からの招待を受け、同じ被災県として野球の交流を深め、防災教育を取り入れながら交流し、これからの社会を担う人材の育成を図るため、交流試合の開催と選抜チームの結成を致しました。

奥能登選抜・宮城県選抜高校野球交流試合

石川県高等学校野球連盟

1 日 時 令和6年8月2日（金）～4日（日）

2 実施内容 <日程>

○8月2日（金）

5：00 集合・出発 飯田高校
16：00 球場到着・練習 会場 石巻市民球場

○8月3日（土）

10：00～ 宮城県選抜 × 石川県奥能登選抜 会場 石巻市民球場

14：00～ 震災交流会 会場 河北総合センタービッグバン

<次 第>

司会進行 宮城県佐沼高校 教諭 松井康弘（前志津川高勤務）

1) 開会

2) 講話Ⅰ 宮城県仙台第一高校教諭 阿部翔人（石工出身）

3) 講話Ⅱ 東北生活文化大高校教諭 佐藤光也（石商出身）

4) 能登半島の現状とこれから 奥能登選抜代表

5) 選抜チーム同士の交流

6) 閉会

○8月4日（日）

10：00～ 石川県奥能登選抜 × 仙台六大学野球連盟選抜
会場 石巻市民球場

13：00～ 宮城県選抜 × 仙台六大学野球連盟選抜